

中2

数学

ポイント

名前 _____

式による説明

_____ 月 _____ 日

まとめ 式による説明

教科書 P.24~P.26

標準

n を整数とすると、偶数は $2n$ 、奇数は $2n + 1$ 、連続する整数は $n, n + 1, n + 2$ と表せる。式を計算して $k \times (\text{整数})$ の形にし、「(整数) は整数だから、 $k \times (\text{整数})$ は k の倍数である」と結論を書く。

例

(1) $n + (n + 1) + (n + 2)$

$$= 3n + 3$$

$$= 3(n + 1)$$

$$3(n + 1) \rightarrow 3 \times (\text{整数})$$

連続する3つの整数の和。 $n + 1$ は整数だから、3の倍数

(2) $2m + (2n + 1)$

$$= 2m + 2n + 1$$

$$= 2(m + n) + 1$$

$$2(m + n) + 1 \rightarrow 2 \times (\text{整数}) + 1$$

偶数と奇数の和。 $m + n$ は整数だから、奇数

(3) $(10a + b) + (10b + a)$

$$= 11a + 11b$$

$$= 11(a + b)$$

もとの数 $10a + b$ 、入れかえた数 $10b + a$

2けたの自然数と入れかえた数の和。 $a + b$ は整数だから、11の倍数

(4) $(10a + b) - (10b + a)$

$$= 9a - 9b$$

$$= 9(a - b)$$

$$9(a - b) \rightarrow 9 \times (\text{整数})$$

入れかえた数との差。 $a - b$ は整数だから、9の倍数